

添付文書

2023年12月18日(第1版)

医療機器製造販売届出番号 : 13B2X00242000028

機械器具 70 歯科用铸造器 一般医療機器 歯科技工用ポーセレン焼成炉 (JMDNコード: 35762000) ハンディシンタリングファーネス 2

【形状・構造及び原理等】

- 形状 (シンタリングファーネス 2本体)



】

- 寸法 幅 35cm×奥行 36cm×高さ 45cm

- 構成

- シンタリングファーネス 2本体
- 冷却台
- セラミックトレイ
- セラミックプレート
- セラミックビーズ

- 電気的定格

電源電圧	AC100V 50/60 Hz
電源入力	10A

- 原理

チャンバー内を最大1600°Cに加熱することによって、チャンバー内のセラミックトレイに配置されたポーセレンを焼成することができる。チャンバー内の温度、その温度を維持する時間、及びその温度に達するまでの時間は事前に設定が可能である。

【使用目的又は効果】

本品は、ポーセレンを焼成するために歯科技工で使われる炉である。

【使用方法等】

- 使用前の準備

- 焼成するポーセレン製の歯科修復物等を十分に乾燥させる。
- 電源スイッチをONにする。
- セラミックトレイにセラミックビーズを敷き詰め、焼成するポーセレン製の歯科修復物等を配置する。

- 使用中の操作

- ハンドルを押しながら時計回りに回し、チャンバードアを開ける。
- チャンバーにセラミックプレートを配置する。
- セラミックプレート上にセラミックトレイを配置する。
- スケジュールとして登録された、チャンバー内の温度、その温度を維持する時間、及びその温度に達するまでの時間を選択する。
- スタート/ストップスイッチを押して焼成を開始する。コントロールパネルには、現在温度、進行状況、残時間が表示される。
- 焼成時間が経過したら、スタート/ストップスイッチを押して焼成を終了する。

- 使用後の処置

- セラミックトレイに配置されたポーセレン製の歯科修復物等をチャンバーから取り出す。

- 歯科修復物等を冷却台に置いて冷却する。

- シンタリングファーネス 2本体に汚れがある場合は適宜清掃を行う。

＜使用方法に関する使用上の注意＞

- 焼成中および直後はシンタリングファーネス 2本体のカバーが高温になっていため触れないこと。やむを得ず触れる場合は、火傷を防ぐために耐火用手袋を着用すること。
- チャンバーからセラミックトレイを取り出す際は、チャンバーの内部温度が100°C未満になるまで待つこと。また、取り出す際はトンネルを使用すること。
- シンタリングファーネス 2本体のコントロールパネルが熱で損傷する可能性があるので、焼成直後のセラミックトレイをシンタリングファーネス 2本体の前に置かないこと。

【使用上の注意】

＜重要な基本的注意＞

- シンタリングファーネス 2本体が確実に接地されていることを確認すること。
- 電源コードを引張ったり曲げたりしないこと。
- 可燃物をチャンバー内に配置しないこと。また可燃物をシンタリングファーネス 2本体近傍に配置しないこと。
- シンタリングファーネス 2本体に液体をかけないこと。
- シンタリングファーネス 2本体を操作する前に、チャンバーが完全に停止していることを確認すること。
- 本品に付属したトレイ以外を使用しないこと。
- 焼成中はシンタリングファーネス 2本体に近づかないこと。
- チャンバーには壊れやすい部品が含まれてため、破損を防ぐために慎重に取り扱うこと。
- チャンバードアを開けたままチャンバーを放置しないこと。
- 振動の多い場所で使用しないこと。
- 操作中に異常を認めた場合は直ちに使用を中止し、販売業者又は修理業者に連絡すること。
- 高温で継続的に使用し続けると、ポーセレンに含まれたガラス材料がチャンバー内に付着し、焼成中のポーセレンを汚染する可能性がある。定期的にチャンバー内に付着したガラス材料を除去すること。
- シンタリングファーネス 2本体を使用していない場合、電源を遮断しておくこと。
- 長期間使用しない場合は、電源から電源コードを抜くこと。

【保管方法及び有効期間等】

- 使用環境

- 温度 : 2°C ~ 35°C
- 湿度 : 80%未満
- 高度 : 3800m 未満

【保守・点検に係る事項】

詳細な保守・清掃に関する事項は取扱説明書を参照すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

- 製造販売業者 株式会社エーティーディー・ジャパン
TEL 03-5319-1581
FAX 03-5319-1582

- 製造業者 Add-in Co., LTD
アディーン (国名: 大韓民国)

取扱説明書を必ずご参照ください。